

見てみよう！

平成18年度

久慈市の会計

平成18年度の市の決算が9月の定例市議会で承認されました。本号では、市に入ってきたお金（歳入）を市がどのように使ったのか（歳出）をご紹介します。4～5ページでは一般会計を、6ページでは特別会計と公営企業会計を、7ページでは平成19年度の取り組みをお知らせします。 ※特集中の金額は、1万円未満を四捨五入していますので、合計値が合わないことがあります。

平成18年度の決算が、新久慈市で初めての1年間の決算です！

平成17年度の決算は、合併する前の旧久慈市と旧山形村の決算（平成17年4月1日～平成18年3月5日まで）、そして、新しい久慈市の17年度の決算（平成18年3月6日～3月31日まで）を合わせたものです。

ですから、平成18年度の決算が、新しい久慈市として初めての、1年間の決算ということになります。

市の仕事は3種類の会計で動いています

市の仕事は3種類の会計に分かれます。

一般会計

市が行う基本的な仕事にかかる経費を網羅した会計です。市の会計のうち、最も基本的な会計です。

特別会計

特定の仕事をするため、特定の歳入を特定の歳出に充てる会計です。一般会計と分けて設置する会計です。

公営企業会計

市が経営する企業に関する会計です。

18年度の仕事をみてみよう！

平成18年度に行った仕事のうち、主なものを上げてみました。合併してから、新しい久慈市が力を入れて取り組んだのは、次のような仕事です。

地域コミュニティに補助 地域の団体などが行う活動に対して補助金を交付しました。▽地域振興▽伝統芸能▽環境保全▽人材育成一などの活動が対象です。

中心市街地の活性化 市街地ににぎわいを生み出すための取り組みを行いました。▽中町の旧ダイエー跡地、県立久慈病院跡地の土地取得▽商店会やまちづくり会社との協議▽まちづくりのための基本計画作り一などを行いました。

学校などの耐震診断・耐震補強 昭和56年度以前に建てられた市内の学校建築物（校舎や体育館など。木造除く）の耐震診断と補強工事を行いました。診断の結果、基準に満たない場合、耐震補強工事を行います。数年かけて、対象となる学校を診断します。

教育旅行などの受け入れ 県内外から小中学校・高校の受け入れを行いました。木登りや沢登りなど自然体験、民泊を売りにした教育旅行を進めました。

企業の立地や増設に補助 市内で働く人が増えるように、企業立地を支援しました。▽新たに市内に立地する企業に対する補助▽立地している企業の工業用水の確保に対する補助一などにより、企業の経営基盤の強化を支援しました。

次のページからは、これらの事業にかかった経費を表す、一般会計、特別会計、公営企業会計を見ていきます。